

# キラリ わたしの学校

～地域で育てる鬼中生～

今年で創立33年となる鬼石中学校では「歌う鬼中」「走る鬼中」を合言葉に日々元気に学校生活を送っています。「歌う鬼中」では、学校行事や小中音楽祭で一人一人が大きな声で精一杯歌うことを心掛けています。「走る鬼中」では、学校から桜山までの往復18kmの道のりを走る立志マラソンを行っています。仲間と励まし合いながら行うこの行事では、コース途中に保護者や地域の人たちが応援してくれています。もう一つの校内マラソン大会では鬼石のまちなかをコースに、日頃の練習の成果を力いっぱい出し切ります。まちなかを走っていると地域の人たちから「がんばれー」などといった温かい声援が送られ、生徒たちは「応援に励まされ、より一層力が出た」と振り返ります。

## 鬼石中学校

問い合わせ 学校教育課(☎508212)  
鬼石中学校(☎52750)



↑鬼石公民館で行われた「子供料理教室」の様子。地域の人に米のとぎ方からおかず作りまで丁寧に教わりました。

また食への関心を高め、感謝の心を育むことを目的に始められた「お弁当の日」では、自分で作ったお弁当を持ち寄り、友達と歓談しながら食べます。好きなキャラクターに似せた『キャラ弁』を作ったという生徒は「見た目にこだわった」といい、いつもとは違った楽しいお昼に友達との会話も弾みます。また公民館では地域の人と一緒にお弁当作りをしたり、地元のスーパーからはおかずのレシピの提供や食材の紹介などの協力をしてもらったり、生徒のお弁当作りには地域を挙げて協力しています。

鬼石地区では「地域の子は地域で育てる」という地域コミュニティの後押しを受け、今日も鬼石中学校の生徒は勉学に励んでいます。



Name

木下結理さん 平野愛菜さん  
新井公貴くん 田中麗恩くん 藤巻飛雅くん

## 本の出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)  
休館日 月曜日  
問い合わせ 図書館(☎21669)

### ノースライト



著者▷横山 秀夫

1級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし越してきたはずの家族の姿は無く、1脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。何が起きたのか?一家の行方は…。

### 夫の扶養からぬけだしたい



著者▷ゆい

夫の心ない言葉、非協力的な態度。同等に収入が無いと、家事・育児に協力してほしいと言うこともできないの?扶養からぬけだし自立することを決意するもものだが…。

### 自然を生きる、自分を生きる



著者▷柳生 博・加藤 登紀子

多元的生活、世代間格差、地方と中央、男と女…。年を重ねてなお輝く人生の達人2人が、自然の素晴らしさや厳しさ、さらには人生観などをユーモアたっぷりに語り、笑い、問う。

# 人権を考える

問い合わせ 生涯学習課(☎26888)



## ～基本的人権～

人権問題は世界各国の課題であり、それぞれの国でさまざまな取り組みがなされています。昨年は「世界人権宣言」が制定されて70周年の節目の年で、改めて人権問題が大きく取り上げられてきました。ここで、人権問題の基本となることに目を向けてみたいと思います。

### 基本的人権

基本的人権は、誰もが生まれながらに持っている大切な権利です。日本国憲法では、次のような権利が示されています。

- 人種・性別・門地などによって差別されません
- 法律に反しない限り、表現・思想・宗教・居住などの自由が保障されています
- 教育を受ける権利、最低限度の人間らしい生活を国が保障しています
- 政治に参加したり、裁判を受けたりする権利なども保障されています

また社会の進展とともに、プライバシー保護の権利など、

新しい権利も主張されています。

### 人権侵害

しかし、こうした権利が守られない事態が日本中で起きています。新たに事件として取り上げられたものだけでも、毎年2万件前後の事例が報告されています。昨年度も、パワハラやセクハラなどが新聞紙上に数多く、大きく取り上げられていました。人権侵害事件数は全体的に見ると、ここ数年ほぼ横ばいですが、インターネットによる人権侵害は、この5年間で3倍以上になるなど、大きな問題になってきています。

人権侵害行為は誰にでも起こり得ることですが、その中でも、社会の中の弱者(女性・子ども・高齢者・障がい者・病気の人も)や少数派の人たち(LGBT・アイヌ民族・外国人など)、社会問題の被害にあった人たち(同和問題・東日本大震災被害者・犯罪被害者など)に対するものが多く見られます。

### 人権課題への対応

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の際には多様な立場の人たちが数多く日本を訪れます。これを、人権への配慮をより進めるためのチャンスと捉えていくことが大切です。

一人一人の人権を尊重するために、この機会に外国人や障がい者、LGBTの人たちなどに対する理解を深め、具体的な対応の仕方を考え、実行していかなければなりません。それには、多様な立場の人たちへの理解と多様性を認める思いやりの姿勢が必要になってきます。自他の権利を大切にしながら、多様性に合わせた対応ができるように準備をしていきましょう。そして、身近な生活の中でも、違いのあることを当たり前に認めて問題を解決するように意識し、行動に表していけるよう心掛けましょう。

人権相談 ▼市役所市民相談室 毎月第2・4金曜日 ▼鬼石公民館 4・7・9・12月の第3木曜日、午後1時～3時